



末吉小だより

横浜市立末吉小学校

学校だより

令和8年度 夏休み号

身近な「自然」に心を動かす夏に

校長 高山 和宣

いよいよ子どもたちが楽しみにしている夏休みが始まります。この長い休みは、子どもたちが学校を離れ、様々な自然に触れる絶好の機会でもあります。今回は、その「自然」にまつわるお話をご紹介します。

2019年、国際天文学連合のプロジェクトによって、日本から世界に向けて名付けられた二つの星があります。その名は「カムイ」と「チュラ」です。

「カムイ」は、北海道のアイヌの言葉で「神様」を意味します。アイヌの文化では、神様は動物や植物など様々な姿に変えて、人間に自然の恵みという贈り物を届けてくれると考えられています。つまり「カムイ」とは、私たちを生かし、包み込んでくれる「大自然」そのものの象徴です。

一方の「チュラ」は、沖縄の言葉で、元々は「自然の美しさ」を表していました。千年以上の時を経た今でも、美しい花や景色に出会ったとき、人々の心を動かす言葉として大切に使われています。

北と南の言葉で名付けられたこの二つの星には、日本人が古くから大自然に敬意を払い、その美しさを愛おしんできた心が映し出されています。

テーマパークなどの特別な場所へ出かけることだけが体験ではありません。ふと身の回りに目を向け、きらめく夏の青空を見上げたり、足元に咲く草花の力強さを感じたりする。そんな、理屈抜きに「きれいだな」「素敵だな」と心が動く瞬間（チュラな心）を、この夏、子どもたちにたくさんたくさん積み重ねてほしいと願っています。こうした日常の感動こそが、子どもたちの心を耕す「豊かな体験」となるはずです。

保護者の皆様におかれましては、子どもたちが身近な自然に目を向け、感性を豊かに育む夏となりますよう、温かく見守り、時には一緒に楽しんでいただければ幸いです。安全で実り多き夏休みとなりますよう、よろしくお願いいたします。

